

ECIP

Education Center for Information Processing

2004 年報

大阪電気通信大学 情報処理教育センター

Education Center for Information Processing, Osaka Electro-Communication University



Education Center for Information Processing

大阪電気通信大学
情報処理教育センター
2004年度 年報

<目次>

巻頭言 情報ネットワークのさらなる活用 情報処理教育センター長 松村 雅史	4
寄稿 3次元グラフィックス制作演習授業における演習室の利用 総合情報学部メディア情報文化学科 上田 和浩	6
特集	
四條畷キャンパス新システム第1演習室	10
コラム 2次元バーコード QRコード	14
運用報告	
教育用システム	16
第1演習室システム構成	16
第2演習室システム構成	18
第3演習室システム構成	20
第4演習室システム構成	22
第5演習室システム構成	24
自由開放実施報告	26
Mathematica講習会	26
講習会等活動報告	34
運営組織	36
構成	36
情報処理教育センター規則	37
情報処理教育センター運営委員会規則	38



情報処理教育センター長 松村 雅史

情報ネットワークのさらなる活用

2003年4月より2代目情報処理教育センター長となり、変化の激しい情報の分野において常に先進的な教育に取り組むべく、本センター職員と共に奮闘しながら運営しています。本センターは1978年という情報社会創世時代に我が国で最初にパソコンを用いた対話型情報処理教育施設として設置されました。以後、常に最新の情報技術を積極的に取り入れた教育を実践し、「電通大方式」として知られる学生の状況をスキャンして教場のモニタリングを行うハードウェアと情報ネットワーク、それらを支援するソフトウェアを用いた教育方式の理念は継承されています。

現在、工学部、情報通信工学部、医療福祉工学部、総合情報学部の4学部の学生が本センターを利用しています。本センターは、UNIX、マルチメディア、インターネット等の新しい情報環境にいち早く対応し、先進的な情報教育を実現しています。具体的には、プログラミング教育(C/C++、Visual Basic、Java)、カラー画像処理、VHDLによるLSI回路設計、3D-LOGOを用いた関数型プログラミング教育、知的CAIを用いた教育支援、3ds maxによる実践的アニメーション制作、LabVIEWによる生体計測・医療情報処理などのユニークな教育が実現されています。内容も、情報技術・メディアアート・デジタルコンテンツ・アニメーション・医療情報・福祉情報とこれからの時代をリードする先駆的な教育内容です。特に、本年度、四條畷キャンパスの第1演習室の機種更新に合わせてソニー社製PlayStation 2を80台導入致しました。本学のデジタルゲーム学科などで、それを活用することで教育的成果が期待されております。このように、本学の研究教育の先進性を活かしたセンターの活動は、産業界より注目されています。

最近では、いろいろな方面から本センターを見学に来られます。近隣の小中学生から大学関係者、地方自治体の方々など、多くの方々に本学の情報教育に関する長い歴史と実績をアピールさせていただいております。また、私立大学情報教育協会の会合では、各大学の取り組みが紹介され、無線LANなどのキャンパス情報ネットワークの整備が当たり前になりつつあります。平成14年より、300校以上の私立大学間が参加してカリキュラムなどを交流するサイバーキャンパスコンソーシアム(私立大学情報教育

協会)に参加し、この事業の拠点校としてe-Learningの設備の強化も進めています。この事業につきましては、本年度、園田学園女子大学との遠隔授業が実施され、他大学との交流で成果をあげており、今後、拡大していくことを期待しております。

さて、最近の入学生をみると、かなりのコンピュータ操作の経験を積んだ学生が多くなってきました。一方、初心者である学生もいて、そのレベルに合わせた習熟度別の演習、コンピュータリテラシーに関しては専門教員の配置の必要性を感じております。コンピュータの高性能化と利用形態の多様化により、コンピュータはかつてのビジネスや研究開発のツールから、日常生活の情報コミュニケーションツールとして浸透しています。小学生がコンピュータを利用して理科学研究に関する情報検索を行い、PowerPointでプレゼンテーションを行う時代において、本センターでは情報およびコンピュータに関して多様な能力を有する学生に対して適切な教育が行えるように情報ネットワーク環境の構築を進めていきます。特に、e-Learningの環境整備は最重要課題と位置づけており、その第一歩としてTOEICなどの資格試験で成果が得られるようにTOEIC e-Learning システムを構築しました。英語担当の先生方の協力を得て授業で活用していただき、TOEICで高い得点を取得する学生も増えてきました。今後、その日の授業に関する小テストを（ケータイなどで）その日に実施できる体制を整備していく予定です。

大学全入時代に突入し、これからは情報発信しない（できない）大学は生き延びていけない時代になっています。積極的に情報発信を行いながら本学の独自性を出せるように関係の方々のご支援を頂きながら新機軸を出せるように努力しますので、ご協力願います。



総合情報学部

メディア情報文化学科 上田 和浩助教授

3次元グラフィックス 制作演習授業における演習室の利用

今年よりメディア情報文化学科（デジタルアート・アニメーション学科）では、3次元コンピュータグラフィックス(以後3DCG)の演習授業として3DCGソフトウェア（3ds max）を使った演習をECIPで行っている。3ds maxはプロの映像制作の現場でも使われている高機能な3DCGソフトウェアで、アニメーション映像に限らず、ゲーム、Webなど、さまざまな映像制作に利用されている。

とはいえ、プロ用のソフトを演習に使うのは、授業の面でも、ソフトのメンテナンスでも難しい面がある。例えばプロ用のソフトは機能を重視するあまり、操作性が難解で、初心者には習得が難しいところがある。昨年の演習でも、なかなかソフトになじめない、難しいといった声が聞かれた。また、ソフトの価格も高価で、学生が気軽に自費で購入し、家のパソコンで習得することも困難だ。

しかし、それでもあえてプロ用のソフトで演習する理由は、やはりプロの現場で実際に使われているという点に絞られてくる。プロ用のソフトには映像制作の現場でたたき上げられてきた実績があり、初心者には良くわからない、使いこなせない機能も、実際の映像制作の現場で現場のニーズを知って、はじめてその機能が理解でき、その有効性が実感できるといったケースが少なくない。また、プロの映像制作の現場は、集団作業で作品を作るのが当たり前になってくる。そういった場合、使用ツールはある程度統一する必要がある。同じソフトでもバージョンが違くと不都合が出る場合もあり、あえて古いバージョンで統一させている場合さえ少なくないのだ。そういった現場の実情を知れば、自分だけ手馴れた別のソフトを使うというのも難しいというのが分かるだろう。個人で制作するなら自分の手馴れた、手になじむ、相性のいいソフトで作品を作ることに何の問題も無い。しかし集団での作業が前提となる商用の映像制作の現場では標準的なソフトを選択することが重要になってくる。

とはいえ、3ds maxだけが標準的な地位にあるソフトというわけではない。3Dの世界には複数の標準ソフトが存在している。これがワープロソフトのようなものならば、機能的には最終的にどれも似たものとなってしまい、同じならば、どれかひとつのソフトに収斂していく力学が作用するのだが、こと3Dの世

界では、まだまだ最新の画像処理理論が発表されては、それを実装した新しいバージョンがリリースされる。そういった実質的な機能の切磋琢磨がなされている関係上、それぞれのソフトに独自の優位、利便性が存在する。また、基本的な画像の質といった点でも、ソフトそれぞれに味があるので、単純に他との代替が利かないという面もある。

● 3ds max の演習授業の内容

先に述べたように、3ds maxにはさまざまな機能があり、13回程度の演習ではなかなか基本的な部分の習得も難しい。また受講希望者が想定した人数よりも多く、導入したライセンス数を超えてしまい、そのままでは受講生全員が十分な時間を取って演習することも難しかった。やむを得ず、特別開講の時間を設けて、不足分を補った。その際、第1演習室のECIP職員の方々には多大な協力を頂いた。ここに感謝の意を表したい。なお、17年度には3ds maxの導入数を大幅に増やして改善する予定である。さて、今年の演習で行った課題は、

- 1) 基本的な機能の紹介と、操作方法のレクチャー。簡単な形状（椅子）のモデリング
- 2) ブール演算（論理演算）を使ったモデリング（鉛筆）
- 3) 変形モデファイアを使ったアニメーション（地図を丸めて地球に変形）
- 4) 合成オブジェクトを使った地形図の作成
- 5) ロフテイング機能を使ったモデリング（観葉植物）
- 6) パッチ機能を使ったモデリング（桔梗の花弁）
- 7) パッチ機能を使ったモデリング2（飛行機）
- 8) ポリゴンモデリングを使ったモデリング
- 9) キャラクタースタジオを使ったアニメーション（サッカーボールを蹴る）
- 10) 自由課題

といった内容だ。自分ではかなり懇切丁寧に、辛抱強く、繰り返し教えたつもりだったが、やはり初心者には内容が難しく、詰め込みすぎだったようだ。受講生の感想としてはスピードが速すぎてついていけないという意見が多かった。時間内にここまで進めておきたいという思いが、ついつい説明のスピードアップにつながる。しかし、かといって、あまりに説明がゆっくりだと、自分自身が何をやってたのか忘れてしまうことがある。限界ぎりぎりのスピードで自転車を漕ぐようなもので、ゆっくり教えるのは手馴れてこないといけないのだと知った。

プリントは毎回配布したが、あまり細かい操作内容までは指示しなかったのが受講生には不満で、プリントを見ても同じことができないという声が寄せられた。もっともだと思われるかもしれないが、プリントを見てそのとおりに入力するだけでは、おそらく何も頭に残らないだろう。操作につまずき、自分で不具合を理解してはじめて身につくのがすべてではないかとさえ思っている。

演習室の環境はベストな状態にあるとあっていい。映像系のソフトの演習ということで、ファイルの保存などでトラフィックが発生するような懸念も持っていたが、問題なかった。基礎的な演習だったのでデータ量がさほど多くなかったこともあるが、ファイル保存の点で不具合はまったく無かった。また、教壇のモニターで受講生の作業状況をモニターできるシステムや、出席状況をファイルアウトできるシステムは非常にありがたかった。

とにかく、来年も後期に3ds maxの演習授業が始まる。本年同様さまざまな不満が出てくるだろうがなんとか毎年改善し、より良い演習にしていきたいと思う。

特集

四條畷キャンパス新システム 第1演習室



四條畷キャンパス新システム

第1演習室



2004年4月から、四條畷キャンパスの第1演習室では新システムを用いた授業が始まった。旧第1演習室のシステムがそうであったように、第1演習室の教育システムは単なる情報教育を行う演習設備としての機能だけではなく、より革新的な情報教育の実現を目指した挑戦的な機能が投入されている。この特集では、最新のハードウェア・ソフトウェアを用いて構築した情報処理教育センターの最新の情報教育システム第1演習室を紹介する。

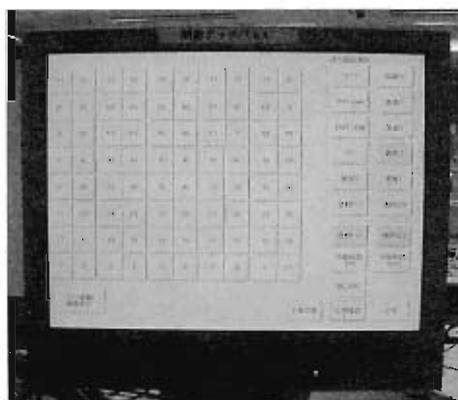
映像制御システム

本センターの教育システムの特徴の一つである映像制御システムは、機器類は一新したものの、本学が長年培ってきた「電通大方式」の理念を踏襲した設計となっている。電通大方式の思想の骨子は、「教師の手を煩わせることなく、高品質な教育サービスを学生に提供することができる情報システムのデザイン」であり、そのための機器構成やインターフェースには様々な工夫がある。

映像制御システムの操作は、教卓にある制御タッチパネルで全ておこなうことができる。このパネルのレイアウトは、使いやすさを考慮してボタンの位置を調整しており、教師が学生に説明を行いながらも、混乱することなく、直感的に操作が行えるように配慮している。

学生のコンピュータの画面の確認は、2つのモニターで行う。一つは制御タッチパネルで指定した任意の学生の画面が表示され、もう一つにはログオンしている学生画面を一定の間隔で切り替わりながら巡回表示される。

学生卓には2席に1つの割合で提示モニターを設置している。教師から学生へは、このモニターを通じて様々な映像情報を送ることができる。送出できる映像は、3つの教師用コンピュータ (Windows XPが2台、MacOS Xが1台)、XGA書画カメラ、各AV機器(DVD、VHS等)からの映像、電子



制御タッチパネルの画面レイアウト。学生の指定は左側、送出映像の切り替えボタンは右上というように機能や使い勝手で配置が決められている。

白板、持ち込んだノートパソコン、指定した学生のコンピュータの画面、巡回表示している学生の画面から選ぶ。

更に教師用コンピュータに設置した CCD カメラの映像を、送出する映像に合成することができる。例えばタイピングの実習の際に、教員用コンピュータのタイピングソフトの画面に、手元を写した CCD カメラの映像を合成して配信するという使い方ができる。

またペン型デバイスを用いて送出映像に矩形や円、自由線を描画することができる。ペン型の入力方式なので手になじみやすい上、複数の色を使って描画でき、重要な箇所にもマーキングしたり説明書きを付け加えるといったことができる。



タイピングソフトに手元を写した CCD カメラの映像を合成し、そこにペン型デバイスで説明を付け加える事ができる

モニタマトリクス

旧第1演習室の特徴の一つであったモニタマトリクスは、新システムでも実践的な教育システムの一部を担っている。最大9人の学生画面を同時にスキャンすることができ、教員が教場の学習の進捗を推し量る際に強力な支援能力を発揮する。また、学生画面をスキャンの選択順番において複数のパターンを用意しており、学生同士の比較や、特定学生の進捗状況を追跡するといった使い方ができる。



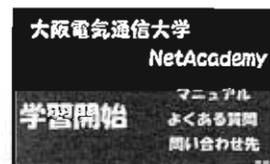
モニタマトリクス、中央の制御用モニタの任意のボタンを押す事により、9台目の学生スキャン画面に切り替わる。

TOEIC e-Learning システム

人間科学研究センター柏原郁子講師の提案のもと、学生の英語能力向上を目的としてアルク社の TOEIC e-Learning システムである ネットアカデミーを導入した。英辞郎をはじめ英語教材に定評のあるアルク社の製品で、効率よく英語学習を習得できるように、様々な工夫がなされた優れたシステムである。e-Learning システムであるため、寝屋川、四條畷とキャンパスが2つに分かれていても、全く同じように使用することができる。

本年度の英語の授業において、このシステムを副教材として利用され、学生の英語学習に貢献した。また、英語授業を受講していない学生向けに利用の仕方についての説明会を開催し、利用の促進を図った。この説明会には多数の学生が参加した。

NetAcademy に関する詳細情報は NetAcademy をご覧ください。



NetAcademy に関する詳細情報は NetAcademy をご覧ください。

NetAcademy に関する詳細情報は NetAcademy をご覧ください。

NetAcademy に関する詳細情報は NetAcademy をご覧ください。

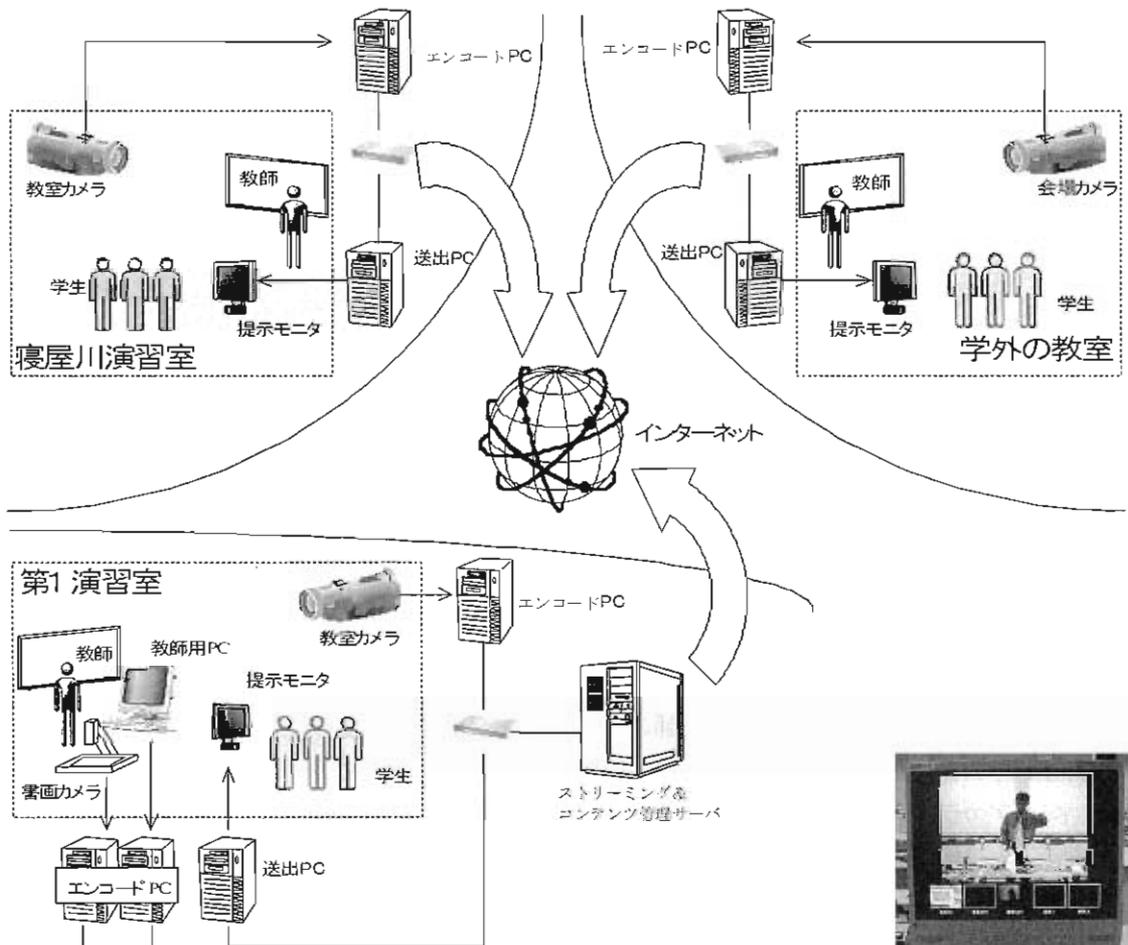
寝屋川、四條畷の両キャンパス、自宅からでもアクセスできる

オンライン遠隔講義システム

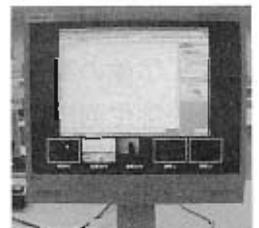
今回のリプレースでは、ネットワークを利用したオンライン遠隔講義のシステムが導入されている。本学は寝屋川と四條畷の2つのキャンパスがあるが、このシステムによってキャンパス間での遠隔講義の開催が可能となる。また、インターネットを通じて学外の施設とも相互に通信ができるため、他大学との講義の連携を行うことができる。本年度は園田女子大学との遠隔授業を実施した。

また、ストリーミングした映像をコンテンツ管理サーバで保存することができ、講義終了後、教材コンテンツとして利用することができる。

◆システム構成



左 第1演習室のエンコードPC
 右上 教室カメラから教卓を映したものをエンコード
 右下 教員用PCの画面をエンコード



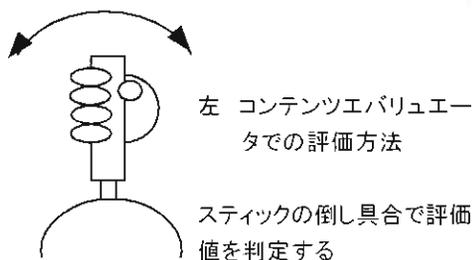
ゲーム教育環境

新システムの学生卓には、従来の学生卓には無かった機器が2つある。一つは家庭用ゲーム機として最も有名なソニー社製Play Station 2の最新機、もう一つはパソコン用スティック型デバイスである。全80席にそれぞれ設置している。

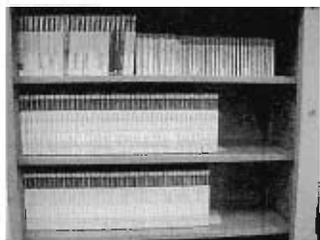
これらの機器は本学デジタルゲーム学科対馬勝英教授の「ゲーム評価法演習」という授業において用いられる。この授業では、ゲーム自体を主観からではなく客観的に評価し、ゲーム評価基準の作成を目指す試みを行っている。

スティック型デバイスは、本センターで開発した「コンテンツエヴァリュエータ」と名づけたリアルタイム評価測定システムのためのもので、スティックの操作量で評価値を判定する仕組みになっており、アナログ感覚に近い直感的な評価が可能となっている。評価値を記録し、振幅から事後の解析も行うことができる。

このコンテンツエバリュエータを用いて、PlayStation 2でゲームをするプレイヤーを、もう一人が評価するといったスタイルで試行錯誤を行っている。



新システムの学生卓



評価用のゲーム各種

学生用コンピュータの性能選定

様々なところでムーアの法則が頻繁に引用されることから分かるように、コンピュータの陳腐化が年々激しくなっている。最新のコンピュータでも、3年もすれば最新のソフトウェアをストレスなく動作させるには耐えなくなることが多い。このような中で、数年が経過しても授業がコンピュータのスペックの影響を受けて支障をきたすことが無いように、学生用コンピュータの構成の選定をする必要がある。

新システムの教員用、学生用のコンピュータには、CPUとしてIntel社のPentium4の2.66GHz、メモリは1GBを搭載した。また、今後様々なソフトウェアのインストールが必要となったとしても対応できるように、ハードディスクは80GB搭載している。また、プロの現場でも使われている3次元CGアニメーション制作ソフト3ds maxが快適に利用できるように、ビデオカードにはELSA製QuadroFX500を搭載した。

各コンピュータとサーバとはすべて1000Base-Tで接続し、ネットワークによるボトルネックの発生を防ぐと共に、今後学生用コンピュータ同士での通信(P2P)を利用した教育用アプリケーションを導入する際にも耐えうる設計になっている。



column - コラム -

2次元バーコード - QRコード -

スーパーのレジなどでよくみかけるバーコード。太さの異なる縦線が並んだ図はすっかりおなじみになりました。バーコードの最大のメリットは、バーコードスキャナを一瞬あてるだけでそこに書かれた情報を即座に読み取れることです。ただ、近年の情報膨大化の影響を受け、既存のバーコードでは扱える情報が不足するようになってきました。



スキャナは横方向に読み込んでいく。
スーパーなどで用いられている規格では、左右どちらの方向から読んでも正しい情報が取り出せるように工夫されている。

そこで、バーコードで扱える情報量を向上しようとする取り組みが行われてきました。この中で出てきたのが2次元バーコードです。これまでのバーコードは横1列の1次元のデータ配列だったものを、2次元化して情報量を増やすというものです。世界中で様々なメーカーによって、多数の2次元バーコードが開発されました。日本では、携帯電話で利用できる2次元バーコードとして、デンソーウェーブ社のQRコードが有名です。



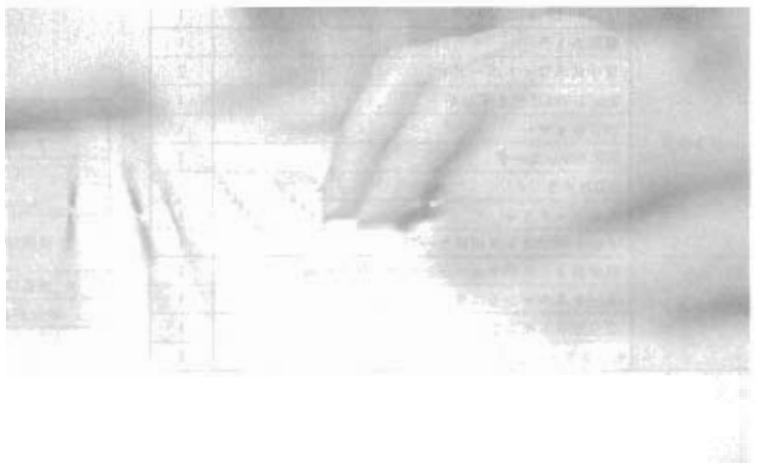
本センターの携帯電話向け自由開放ページのURL、
「<http://www.osakac.ac.jp/ecip/mobile/>」
が埋め込まれている。

縦、横にスキャンしていく。3つの角にある2重の四角と、残りの1角の小さな四角から大きさを読み取り、上下方向、全体のサイズを把握する。
扱うデータ量で大きさが変わる。

QRコードは縦横にデータの配列を2次元化することで膨大な情報を扱えるようになりました。英文字なら約4000文字以上、漢字なら約1800文字が扱えます。スーパーなど、既に使われていたバーコードの置き換えだけでなく、携帯電話との組み合わせで、手軽にすばやく情報にアクセスできることから、次世代情報サービスの期待がよせられています。

運用報告

- ・教育システム
- ・自由開放実施報告
- ・Mathematica 講習会
- ・講習会等活動報告
- ・運営組織



教育用システム

EDUCATION SYSTEM

第1 演習室システム構成

第1演習室は、メディア情報文化学科の3DCCアニメーションの授業や、工学部1年次のコンピュータ言語の基礎を学ぶ教室として使用される。モニタマトリクス、遠隔講義システムなど、斬新的な教育システムが積極的に導入されている。



◆教員用システム

	製品名	数量
コンピュータ	HP Compaq Business Desktop d530 MT/CT CPU : Pentium4 2.66GHz メモリ : 1GB HDD : 80GB FDD : 3.5inch×1 (内蔵) CD-RW/DVD-ROM (内蔵) グラフィックカード : ELSA QuadroFX500 CCDカメラ : Creative WebCam NX スティック型入力デバイス : Top Gun Fox 2 Pro ペン型入力デバイス : WACOM Cintiq C-1800SX モニタ : EIZO 15inch液晶モニタ	2
	Apple iMac 15型 CPU : PowerPC G4 1GHz メモリ : 512MB HDD : 80G (内蔵) FDD : 3.5inch×1 (内蔵) CD-RW/DVD-ROM (内蔵) 17inch モニタ	1
プリンタ	EPSON LP-9600SPD	1
提示装置	書画カメラ	1
	電子式ホワイトボード	2
	8mm/S-VHSビデオデッキ	1
	DVプレイヤー	1
	DVD/HDDレコーダ	1
	CCDカメラ	1
	カセットデッキ	1
ノートパソコン接続用ケーブル	1	
モニタリングシステム	制御用タッチパネル (送出切替、画面取得)	1
	オートスキャンモニタ	1
	プリセットモニタ	1
	モニタマトリクス	1

◆学生用システム

	製品名	数量	
コンピュータ	HP Compaq Business Desktop d530 MT/CT CPU : Pentium4 2.66GHz メモリ : 1GB HDD : 80GB FDD : 3.5inch×1 (内蔵) CD-RW/DVD-ROM (内蔵) グラフィックカード : ELSA QuadroFX500 CCDカメラ : Creative WebCam NX スティック型入力デバイス : Top Gun Fox 2 Pro モニタ : EIZO 15inch液晶モニタ	80	
	プリンタ	EPSON LP-8800CPS	1
		EPSON LP-9600SPD	1

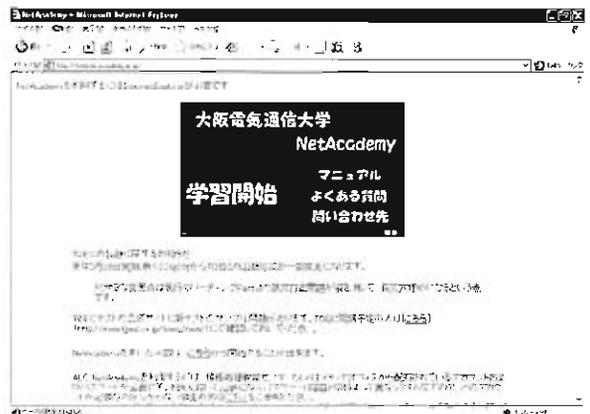
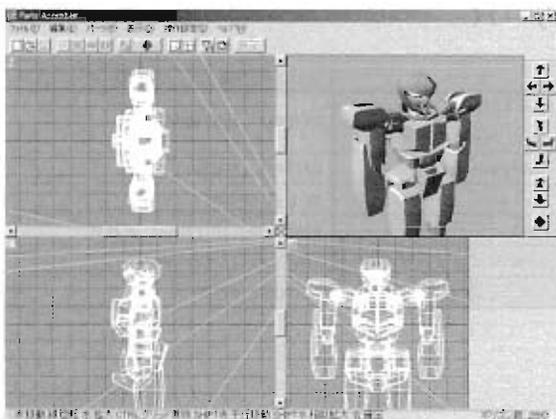
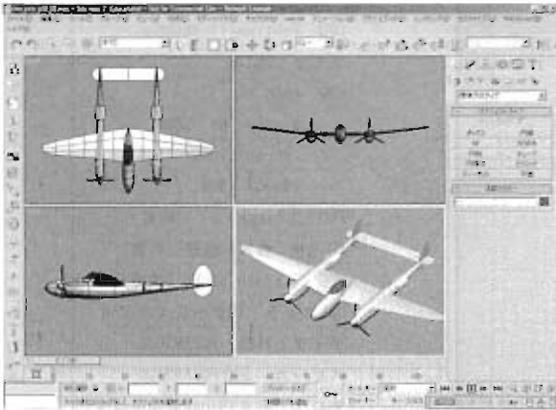
サーバ	機種
Windows サーバ	HP DL360 6台、HP DL380 1台
TOEIC サーバ	HP DL380 1台
Linux サーバ	HP DL360 1台
遠隔講義システム	エンコードサーバ 4台 映像出力用PC 4台
講義収録用サーバ	HP Workstation XW6000 1台
映像編集用システム	Macintosh G5 1台

◆ソフトウェア

種別	ソフトウェア名
OS	Microsoft Windows XP
ビジネス関連	Microsoft Office2003
	・ Word 2003
	・ Excel 2003
	・ Power Point 2003
言語	Orchid Study C
	Microsoft Visual BASIC
	電脳組 BASIC/98
	ユニー 3D-LOGO
CG	SunMicrosystems Java SDK
	3ds max
数式処理	Wolfram Research Mathematica
CAD	AutoDesk AutoCad LT 2004
シュミレータ	VMWare
	The Mathworks Matlab
ネットワーク	Netscape Netscape7



上 卓上のPlaystation2
 左 3ds max
 左下 Doga Cシリーズ
 下 英語e-Learningのスタートページ



特集にあるように、第1演習室には特徴的なソフトウェアやハードウェア、ネットワークシステムが導入されている。

学生机上のPlaystation2、存在感のあるスティック型インターフェースは、デジタルゲームという新しいメディア教育のツールとして設置された。

3DCGアニメーションソフトウェアには、初心者用にDoga Cシリーズ、プロを目指す学生向けに3ds Maxが用意されており、レベルに合わせたソフトの使い分けが可能である。

英語学習用のe-Learningシステム、「ネットアカデミー」は本学の全学生が利用可能で、文字だけでなく画像や音がふんだんに使用され、楽しみながら本格的な英語学習ができる。

第2 演習室システム構成

第2演習室では、主に工学部の専門教育を実施するために使用される。特に Visual Basic, Visual Fortran といったコンピュータ言語教育や、Turbo Linux 上で画像処理プログラミング、TeX などソフトウェア実習を中心とした授業が行われている。



◆教員用システム

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA - 370 CPU: PentiumIII 866MHz メモリ: 256MB HDD: 40GB Windows NT: 16GB Turbo Linux: 10GB BeOS: 13GB FDD: 3.5inch (内蔵) CD-ROM: 最大40倍速 (内蔵) MOD: 3.5inch 640MB (内蔵) CCDカメラ: 10データ CCD-CAM マイク: 日立 PC-AM2070 スピーカ: 日立PC-AM2100 モニタ: 日立15inch液晶モニタ	2
	Motorola Starmax 3000/200 メモリ: 64MB HDD: 2.3GB (内蔵) FDD: 3.5inch x1 (内蔵) CD-ROM (内蔵) 17inch モニタ	1
プリンタ	EPSON LP-9600SPD	1
提示装置	産画カメラ (Nikon III-500E)	1
	電子式ホワイトボード (KOKUYO mimio)	2
	フリーハンド描画装置 (Boeckeler Pointmaker)	1
	DV/S-VHSプレイヤー (SONY WV-0R7)	1
	CD/CDI/LOプレイヤー (SONY MDP-455)	3
	CCDカメラ (SONY CCD-PC1)	1
	カセットデッキ (SONY TC-WR790)	1
	ノートパソコン用接続ケーブル	1
モニタリングシステム	制御用タッチパネル (送函切替、別画取得)	1
	オートスキャンモニタ	1
	プリセットモニタ	1
	送出確認モニタ	1

◆学生用システム

	製品名	数量	
コンピュータ	日立 FLORA - 370 CPU: PentiumIII 866MHz メモリ: 256MB HDD: 40GB Windows NT: 16GB Turbo Linux: 10GB BeOS: 13GB FDD: 3.5inch x1 (内蔵) CD-ROM: 最大40倍速 (内蔵) MOD: 3.5inch 640MB (内蔵) CCDカメラ: 10データ CCD-CAM マイク: 日立 PC-AM2070 スピーカ: 日立PC-AM2100 モニタ: 日立15inch液晶モニタ	76	
	プリンタ	EPSON LP-9600SPD	5
		EPSON LP-8300CPD (スキャナ付)	1
	提示用モニタ	SONY CPD-G200J	38

◆サーバ

サーバ	機種
Campus ESPer ルームサーバ	GATEWAY ALR7400/933
プロファイルサーバ	GATEWAY ALR7400/933
e-learning サーバ	GATEWAY ALR7400/933
e-learning サーバ	富士通 GP400S
デジタルビデオ編集システム	NANA0 MediaDirector GP4000
MPEGエンコーダ	IBM IntelliStation
YOD	S61 Origin 200

◆ソフトウェア

Windows NT

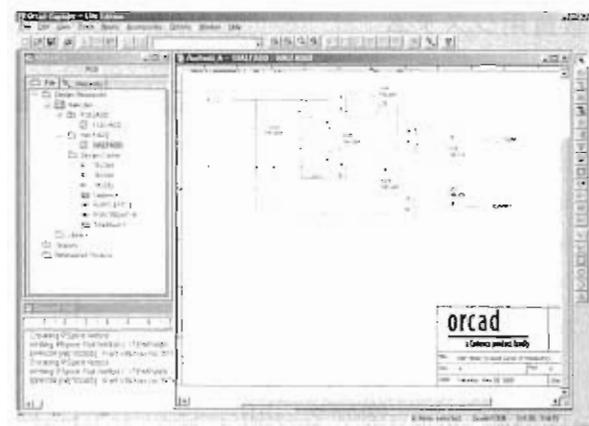
種別	ソフトウェア名
OS	Microsoft Windows NT
ビジネス関連	Microsoft Office2000 Pro
	・ Word 2000
	・ Excel 2000
	・ Power Point 2000
	・ Access 2000
	・ Front Page 2000
	・ Photo Draw 2000
・ Publisher 2000	
言語	Orchid Study C
	Borland Borland C++ Suite
	Compaq Visual Fortran
	Microsoft Visual BASIC
	電脳組 BASIC/98
	Metroworks Codewarrior
CG	Adobe Illustrator
エディタ	ビレッジセンター WZ Editor
数式処理	Wolfram Research Mathematica
CAD	AutoDesk AutoCad LT 2000i
シュミレータ	MicroSim Pspice
	The Mathworks Matlab
ネットワーク	Netscape Netscape Communicator
電子辞書	か行 Logo Vista E to J Internet Plus
	ネットワークことば for Internet
	岩波書店 広辞苑
	研究者 新英和/英和中辞典 日外アソシエーツ コンピュータ用語辞典

Turbo Linux

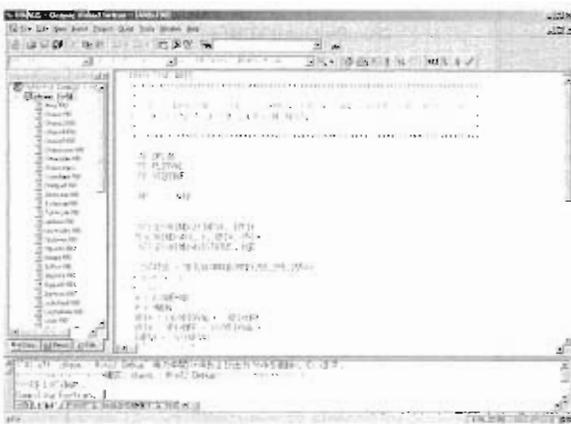
種別	ソフトウェア名
OS	Turbo Linux Turbo Linux
ビジネス関連	Applixware

BeOS

種別	ソフトウェア名
OS	Be BeOS
ビジネス関連	BeOSアプリケーションパック



上 OrCAD による回路シミュレータ
左 Visual Fortran



デジタル回路の授業では、回路シミュレータとして広く利用されているOrCAD、Pspice を用いたシミュレーション演習を行っている。このようなシミュレータを使うことで、実際の回路を使用した場合には難しい試行錯誤を簡単に行うことができる。

コンピュータ言語学習には、初心者向けのC言語としてStudy C、本格的なC言語学習用にBorland C++ Suiteが利用できる。GUIアプリケーションを製作する授業では、Visual BASICが用いられる。数値演算のプログラミング学習の授業では、この分野で長い歴史のあるFortranを用いた実習が行われている。

第3 演習室システム構成

第3演習室は小教室であるが、第4演習室と同様のマシン20台に加え、iMac, VAIOなど授業以外のコンピュータも利用できる多目的な性格を持たせている。主に自由開放として利用し、学習用ビデオ・CD-ROMの視聴も可能である。



◆教員用システム

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA - 370 CPU : Pentium II 350MHz メモリ : 96MB HDD : 6.4GB Windows NT : 3GB Turbo Linux : 3.4GB FDD : 3.5inch×1 3モード (内蔵) MOD : 3.5inch 640MB (内蔵) CD-ROM (内蔵) スピーカ (外付) CCDカメラ (外付) 14.1" S - TFT液晶ディスプレイ	1
	Apple Power Macintosh G3 CPU : 300MHz PowerPC G3 メモリ : 96MB HDD : 6GB FDD : 3.5inch×1 (外付) CD-ROM (内蔵) 15" TFT液晶ディスプレイ	1
提示装置	書画カメラ	1
	S-VHSビデオデッキ	1
	CD/CDV/LDプレイヤー	1
	カセットデッキ	1
	CCDカメラ	1
	ノートパソコン用接続ケーブル	1
液晶プロジェクタ	1	

◆学生用システム

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA - 370 CPU : Pentium II 350MHz メモリ : 96MB HDD : 6.4GB Windows NT : 3GB Turbo Linux : 3.4GB FDD : 3.5inch×1 3モード (内蔵) MOD : 3.5inch 640MB (内蔵) CD-ROM (内蔵) スピーカ (外付) CCDカメラ (外付) 14.1" S - TFT液晶ディスプレイ	20
	Apple iMac CPU : 266MHz PowerPC G3 メモリ : 96MB HDD : 6GB FDD : 3.5inch×1 (外付)	8
	SONY VAIO CPU : Pentium II 333MHz メモリ : 120MB HDD : 8.4GB FDD : 3.5inch×1 (内蔵) スピーカ (外付)	2
	NEC PC-9801 BX2 CPU : i486 SX 25MHz メモリ : 8MB HDD 256MB FDD : 3.5inch×2 (内蔵)	2
	SONY NWS-5000SB メモリ : 32MB HDD : 524MB (内蔵) FDD : 3.5inch×1 (内蔵) スピーカ/マイク (外付) 17inch モニタ	2
プリンタ	EPSON LP-9600	1
	EPSON LP-8000C (スキヤナ付)	1

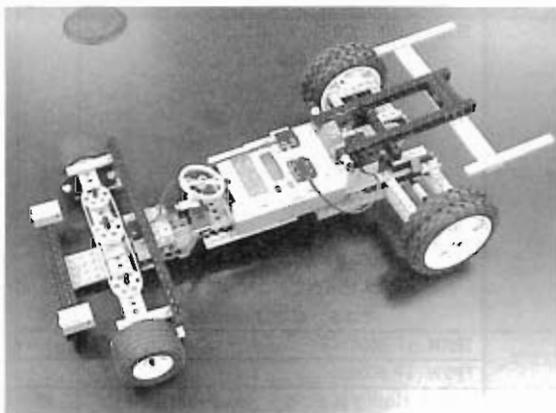
◆ソフトウェア

WindowsNT用ソフトウェア

種別	ソフトウェア名
OS	Microsoft Windows NT 4.0 Workstation
ビジネス関連	Microsoft Office97 Powered by WORD98 ・ Word 98 ・ Excel 97 ・ Power Point 97 ・ Access 97
言語	電脳組 BASIC98 Microsoft Visual BASIC Orchid Study C Borland C++ Builder Borland TurboC++ 4.0J Borland TurboC++ 5.0J Microsoft Visual C++ ユニー 3D-LOGO
CG	メッツ PaintShop メッツ G Crew マクロメディア Flash マイクログラフィックス Simply 3D
エディタ	ビレッジセンター WZ Editor
数式処理	Wolfram Research Mathematica エスミ Eecel統計 エスミ Excel多変量解析
CAD	AutoDesk AutoCad LT98
シュミレータ	MicroSim Pspice
ネットワーク	Netscape Netscape Communicator
電子辞書	カテネ Logo Vista E to J Internet Plus ネットワークこととい for Internet 岩波書店 広辞苑 研究者 新英和/英和中辞典 日外アソシエーツ コンピュータ用語辞典

Turbo Linux用ソフトウェア

種別	ソフトウェア名
OS	Turbo Linux Turbo Linux 3.0
ビジネス関連	Applixware



VA10用ソフトウェア

種別	ソフトウェア名
OS	Microsoft Windows 98
ビジネス関連	Adobe PageMaker Adobe Acrobat
オーサリング	Macromedia Director
CG	Adobe PhotoShop Adobe Illustrator

iMac用ソフトウェア (Aグループ)

種別	ソフトウェア名
OS	Apple MacOS 8
ビジネス関連	Microsoft Office98 Adobe PageMaker Adobe Acrobat
言語	Pictorius Prograph
オーサリング	Apple Hyper Card
CG	Adobe Photoshop Adobe Illustrator 終作 六角大王
シュミレータ	Knowledge Revolution Interactive Physics MicroSim Pspice

iMac用ソフトウェア (Bグループ)

種別	ソフトウェア名
OS	Apple MacOS 8
ビジネス関連	Microsoft Office98
言語	Pictorius Prograph Metrowerks CodeWarrior STAZ SOFTWARE Future BASIC
オーサリング	Apple Hyper Card
シュミレータ	Knowledge Revolution Interactive Physics MicroSim Pspice

視聴用ビデオ/CD-ROM

種別	ソフトウェア名
ビデオ	丸善 ビデオでわかるインターネットのすべて 丸善 マルチメディア研修シリーズ 丸善 ビジュアルプレゼンテーションシリーズ 日経総合販売 UNIX入門
CD-ROM	日立デジタル平凡社 マイベディア98 日立デジタル平凡社 マイベディア97 富士通ラーニングメディア 理科年表CD-ROM98 NECインターチャネル マルチメディア人体

左 Lego Mindstorm で作ったレーシングカー

コンピュータ制御教育の一環として、Lego MindStorm が導入されている。

第4 演習室システム構成

第4演習室は136台の学生用コンピュータが並ぶ大教室である。パーティションによって教室を分割し、80台と56台に分かれて利用することもできる。主に工学部の専門教育に使用し、ハードウェア制御のプログラミング学習などが実施されている。



◆教員用システム(前方教室)

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA - 370 CPU : Pentium II 350MHz メモリ : 96MB HDD : 6.4GB Windows NT : 3GB Turbo Linux : 3.4GB FDD : 3.5inch×1 (内蔵) MOD : 3.5inch×1 : 640MB (内蔵) CD-ROM (内蔵) スピーカ (外付) CCDカメラ/マイク (外付) モニタ : 日立14.1inch液晶モニタ	3
	Apple Power Macintosh 8600/200 メモリ : 64MB HDD : 1.5GB (内蔵) FDD : 3.5inch×1 (内蔵) CD-ROM (内蔵)	1
プリンタ	EPSON LP-9600	1
	EPSON LP-8000C (スキヤナ付)	1
提示装置	書画カメラ (Nikon HI-300)	1
	電子式ホワイトボード (SORD SoftBoard)	2
	フリーハンド描画装置 (Boeckeler Pointmaker)	1
	DV/S-VHSプレイヤー (SONY WV-D1000)	1
	DVD/CD/LDプレイヤー (Pioneer DVL-919)	1
	CCDカメラ (SONY CCD-PC1)	1
	カセットデッキ (SONY TC-WR910)	1
ノートパソコン用接続ケーブル	1	
モニタリングシステム	制御用タッチパネル (送付切替)	1
	送付確認モニタ	2
	Campus ESPer 用マシン (日立 FLORA-370)	1

◆教員用システム (後方教室)

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA - 370 CPU : Pentium II 350MHz メモリ : 96MB HDD : 6.4GB Windows NT : 3GB Turbo Linux : 3.4GB FDD : 3.5inch×1 (内蔵) MOD : 3.5inch×1 : 640MB (内蔵) CD-ROM (内蔵) スピーカ (外付) CCDカメラ/マイク (外付) モニタ : 日立14.1inch液晶モニタ	2
プリンタ	EPSON LP-9600	1
提示装置	書画カメラ (Nikon HI-300)	1
	DV/S-VHSプレイヤー (SONY WV-D1000)	1
	DVD/CD/LDプレイヤー (Pioneer DVL-919)	1
モニタリングシステム	送付確認モニタ	1
	Campus ESPer 用マシン (日立 FLORA-370)	1

◆学生用システム

	製品名	数量
コンピュータ	日立 FLORA - 370 メモリ : 96MB HDD : 6.4GB Windows NT : 3GB Turbo Linux : 3.4GB FDD : 3.5inch×1 (内蔵) CD-ROM : 最大32倍速 (内蔵) MOD : 3.5inch×1 : 640MB×1 (内蔵) CCDカメラ/マイク : SONY CCD-PC1 スピーカ : 日立PC-AM0600 モニタ : 日立14.1inch液晶モニタ	80
プリンタ	EPSON LP-9600	5
	EPSON LP-8000C	1
提示用モニタ	日立14.1inch液晶モニタ (Super IFT)	40

◆ソフトウェア

Windows NT ソフトウェア

種 別	ソ フ ト ウ ェ ア 名
OS	Microsoft Windows NT 4.0 Workstation
ビジネス関連	Microsoft Office97 Powered by WORD98
	・ Word 98
	・ Excel 97
	・ Power Point 97
言語	・ Access 97
	電脳組 BASIC98
	Microsoft Visual BASIC
	Orchid Study C
	Borland C++ Builder
	Borland TurboC++ 4.0J
	Borland TurboC++ 5.0J
Microsoft Visual C++	
CG	ユニー 3D-LOGO
	メッツ PaintShop
	メッツ G. Crew
	マクロメディア Flash
エディタ	マイクログラフィックス Simply 3D
	ビレッジセンター WZ Editor
数式処理	Wolfram Research Mathematica
	エスミ Excel統計
	エスミ Excel多変量解析
CAD	AutoDesk AutoCad LT98
シュミレータ	MicroSim Pspice
ネットワーク	Netscape Netscape Communicator
電子辞書	カテナ Logo Vista E to J Internet Plus
	ネットワークこととい for Internet
	岩波書店 広辞苑
	研究者 新英和/英和辞典
	日外アソシエーツ コンピュータ用語辞典

Turbo Linux 用ソフトウェア

種 別	ソ フ ト ウ ェ ア 名
OS	Turbo Linux turbo Linux 3.0
ビジネス関連	Applixware



◆サーバ

サ ー バ	機 種
バックアップ/メインコントローラ ファイルサーバ NIS Masterサーバ	COMPAQ Alpha Server800
バックアップ/メインコントローラ ファイルサーバ NIS Slaveサーバ	COMPAQ Alpha Server800
メールサーバ WWWサーバ WWWプロキシサーバ	富士通 GP400モデル60
ドメインサーバ	日立 FLORA350
インターネットことといサーバ DHCPサーバ	GATEWAY ALR7300
ブライマイト/メインコントローラ	GATEWAY ALR7300
Windows Terminal Server バックアップ/メインコントローラ	GATEWAY ALR7300
リモートアクセスサーバ	ルセントテクノロジ PortMaster3 model A2T
プロファイルサーバ	COMPAQ ProLiant800



上 ハードウェア教育用機器 (AB10-EXE)
左 ロボットアーム (ARM ROBOT)

工学部では、コンピュータからハードウェア機器を制御するプログラミングの演習が行われている。近年のロボットやセンサーなどの機器は高性能化しており、コンピュータとの連携が一般化してきている。このような中で、外部の機器との通信(I/O)を、概念だけでなく実際のプログラミングから体験することは、即戦力の育成として非常に重要である。

第5 演習室システム構成

第5演習室は、主に工学部1年次のコンピュータリテラシーと、医療福祉工学科による情報関連科目の実習用として使用されている。また、第1演習室との遠隔講義を意識した映像システムが構築されており、タッチパネルによるボタン操作だけで簡単に遠隔授業が実施できる。



◆教員用システム

	製品名	数量
コンピュータ	Compaq Evo Desktop D500MT CPU: Pentium4 1.6GHz メモリ: 1GB HDD: 100GB FDD: 3.5inch×1 (内蔵) CD-RW (内蔵) MOD: 3.5inch× 640MB (内蔵) CCDカメラ: Creative VBWCPLUS マイク: Creative MC1000/J スピーカ: 内蔵 モニタ: 15inch液晶モニタ	2
	Apple M8360J/A メモリ: 1.2GB HDD: 60GB (内蔵) SuperDrive (内蔵) モニタ: 15inch液晶モニタ	1
プリンタ	EPSON LP-9600SPD	1
提示装置	書画カメラ (Nikon HI-500E)	1
	電子式ホワイトボード (SMART BOARD)	2
	フリーハンド描画装置 (WACOM PL-550)	1
	DV/S-VHSプレイヤー (SONY WV-DR7)	1
	CD/CDV/LDプレイヤー (SONY DVJ-919)	1
	CCDカメラ (VBWCPLUS)	1
	カセットデッキ (Panasonic RS-TR4750-K)	1
ノートパソコン用接続ケーブル	1	
モニタリングシステム	制御用タッチパネル (送受切替、画面取得)	1
	オートスキャンモニタ	1
	プリセットモニタ	1
	送受確認モニタ	1
講義録画再生システム	DVDハードディスクレコーダ (DNR-VSR-S)	2
	DVD100連続チェンジャー	1
	制御用コンピュータ	1

◆学生用システム

	製品名	数量	
コンピュータ	Compaq Evo Desktop D500MT CPU: Pentium4 1.6GHz メモリ: 1GB HDD: 100GB FDD: 3.5inch×1 (内蔵) CD-RW (内蔵) MOD: 3.5inch× 640MB (内蔵) CCDカメラ: Creative VBWCPLUS マイク: Creative MC1000/J スピーカ: 内蔵 モニタ: 15inch液晶モニタ	72	
	プリンタ	EPSON LP-9600SPD	1
		EPSON LP-8300CPD (スキヤナ付)	1
	提示用モニタ	15inch液晶モニタ (FlexScan L365)	38

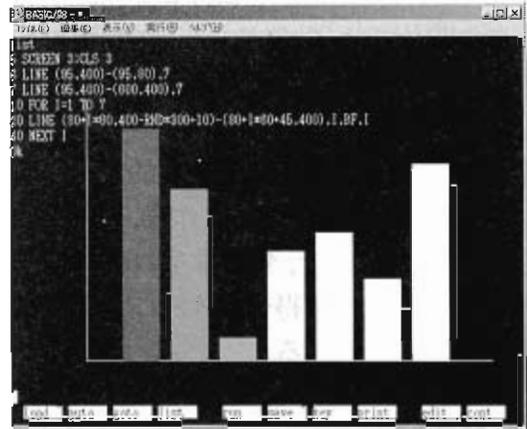
【サーバ】

サーバ	機種
Windows サーバ	Panastation 4台
Linux サーバ	Panastation 3台
映像配信サーバ	Panastation 1台

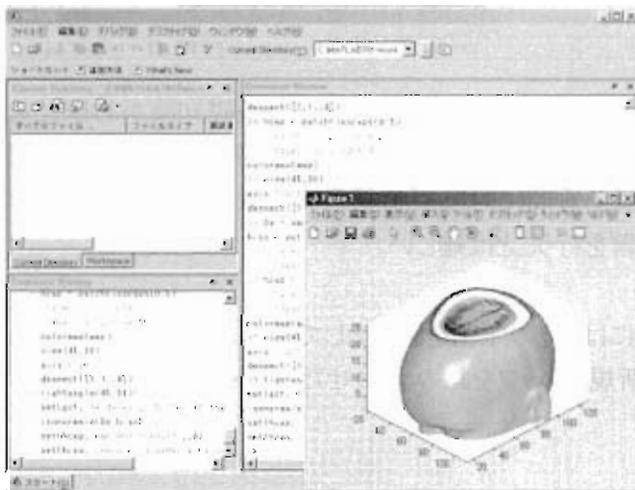
◆ソフトウェア

【ソフトウェア】

種別	ソフトウェア名
OS	Microsoft Windows XP
ビジネス関連	Microsoft OfficeXP
	・ Word XP
	・ Excel XP
	・ Power Point XP
	・ Access XP
言語	Orchid Study C
	Microsoft Visual BASIC
	電脳組 BASIC/98
	ユニー 3D-LOGO
CG	SunMicrosystems Java SDK
	Adobe Photoshop
数式処理	Doga C シリーズ
CAD	Wolfram Research Mathematica
CAD	AutoDesk AutoCad LT 2002
シュミレータ	マイクロネット Circuit Viewer
ネットワーク	The Mathworks Matlab
ネットワーク	Netscape Netscape7



上 BASIC/98
左 MATLAB



MATLAB

MATLAB は数あるミドルウェアの中でも独特の特徴があるシステムである。変数は全て行列で扱われるので、1つの変数に画像データや音楽データを格納するといったことが可能である。そして、それらの変数に対して特別なことをすることなく代数演算を行えるため、他処理系では複雑になりがちな演算処理も、MATLAB では非常に容易に記述することができる。

BASIC/98

BASIC/98 は、PC-98シリーズのN88BASICと互換性の高いBASIC言語である。BASIC言語体系は行番号によるシリアル処理系であり、習得のハードルが低く、基礎演習には非常に適したコンピュータ言語である。

さらにBASIC/98はスクリーンエディタの機能が備わっており、試したい命令を即座に実行できる。これにより、コンピュータとの対話的な試行錯誤が容易に行うことができる。

BASIC言語が登場して以降、様々なコンピュータ言語が開発されているが、教育用途としてBASICを超える言語はそう多くない。

自由開放実施報告

OPEN SPACE

学生は、授業のレポートの作成や自習、様々な情報の検索、電子メールでの連絡、Webを活用した就職活動など、日常的にコンピュータやネットワークの利用を必要としている。本センターでは、学生のこのようなニーズに応じるため、演習室の各設備を利用できるように自由開放を実施している。

自由開放では、学生が安心して利用できるように専門的知識を持つ学生をアルバイトとして雇用しており、レポートや自主学習の教育的なサポート、ソフトウェアの操作に関するガイド、機器のトラブルなどに対応している。

また、発展的な利用促進を目的として、自由開放の学生スタッフによる様々な講習会を実施している。スタッフは講習用のテキスト作成、説明、質問の応答、実施後のレポート提出を行う。このような講習会を実施することで、受講学生のコンピュータ利用の幅が広がるだけでなく、学生スタッフ自身の技術面での深い知識の習得や、スタッフ同士協力し合って1つの目標をやり遂げる事により、人間的な成長を期待することができる。

学生スタッフ

自由開放の円滑な運用のため、学生スタッフは様々な業務を担当する。自由開放の準備、後片付けなどから、利用者の質問への対応、利用者を対象とした講習会等の企画・準備、演習室広報コンテンツの作成など多岐にわたる。

このような業務を担うために、募集時点でコンピュータや演習室の環境に関する基礎知識があることを条件として募集している。コンピュータの普及によって、ある程度の知識や技能を持つ学生の数は増えてきているが、それだけでは利用者の課題等に関する質問に対し、「直接答えを教えない」「質問者が理解できるように解決に導く」といった教育的な助言を行うことは難しい。

そこで応募した学生スタッフに経験者がいた場合には、その学生を講師として新規スタッフ向けに研修会を実施する。また運用開始2、3週は経験者と新規スタッフを組み合わせたシフトを構成し、経験者がそれぞれの業務を解説しながら実施する。

また、職員、スタッフ間はメーリングリスト通じて情報を共有している。学生スタッフは担当した日の質問やトラブルなどを報告書としてメーリングリストに投稿し職員および全スタッフが確認する。おかしい点があれば、職員・スタッフ問わずにレスポンスを返す。これにより、トラブル情報、同類の質問に対する予備知識を事前に得られたり、メーリングリストでの議論を通じてよりよい解決策などを得ることができる。

このような対面による指導といったアナログ的な要素と、メーリングリストのようなデジタル的な要素を組み合わせ、学生スタッフの育成を行い、自由開放サービスの品質向上を実現している。

2004年度の講習会の内容

◆自作パソコン講習会

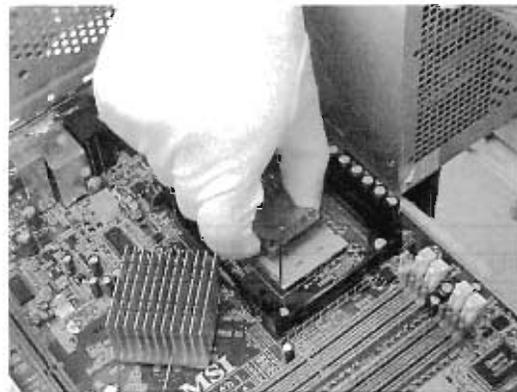
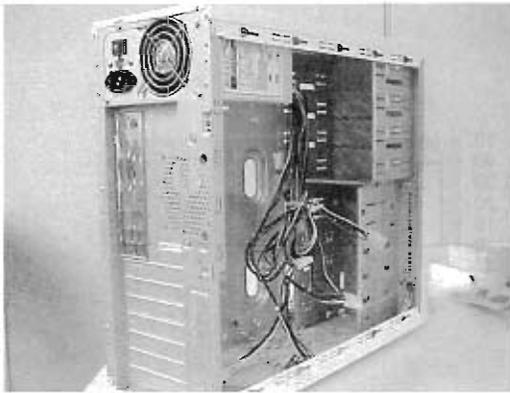
開催日・開催場所：

7月1日, 11月30日, 12月7・14・21日, 1月11・18日・8日 寝屋川キャンパス第2演習室
 7月8日, 11月25日, 12月2・9・16日 四條畷キャンパス第5演習室

参加人数：96名

内容：パソコン組み立てに興味を持つ学生向けの講習会で、マザーボード、メモリ、ハードディスクなどのばらばらにしたパーツを組み立て、OS(オペレーションシステム)のインストールと起動の確認までを行う。参加したどの学生も興味津々で取り組んでいた。

右図 参加者が慎重にCPUを取り付けているところ
 下図 組み立て前の状態。ここからパソコンを組み立てていく



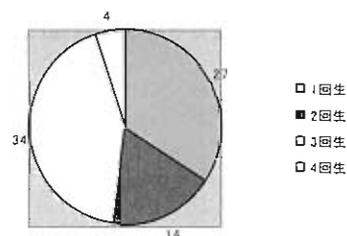
◆自作パソコン講習会アンケート結果

2004年度自作パソコン講習会参加者を対象にアンケート調査を行った。アンケート集計結果を以下に報告する。

1. あなたの学科はどこですか？また何回生ですか

表1. 回生と人数

回生	人数
1回生	27
2回生	14
3回生	34
4回生	4

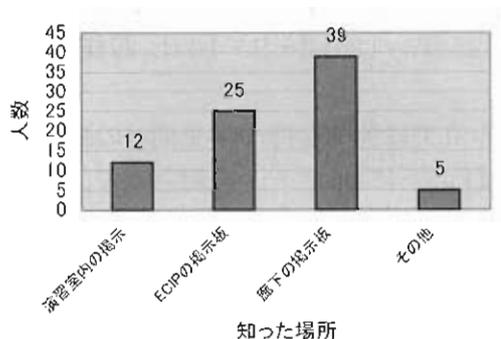


グラフ1 回生と人数

2. あなたは講習会をどこで御知りになりましたか？また参加された理由は何ですか？

表2. 知った場所と人数

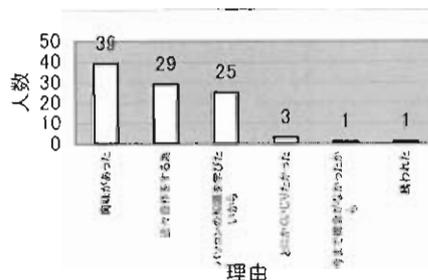
場所	人数
演習室内の掲示	12
ECIPの掲示板	25
廊下の掲示板	39
その他	5



グラフ2. 知った場所と人数

表3. 参加した理由

理由	人数
興味があった	39
近々自作をする為	29
パソコンの知識を学びたいから	25
とにかくいじりたかった	3
今まで機会がなかったから	1
誘われた	1



グラフ3. 参加した理由と人数

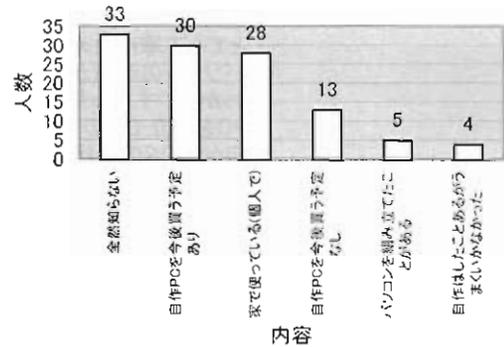
詳細:

- ・ この講習会の教え方を学ぶため
- ・ 自分でPCを組み立てられるようになりたいから
- ・ 近いうちに自作パソコンを作ろうと思っていたから
- ・ 新しく買換えようとしていた時に、この講習会を知ったから
- ・ 分からない分野があったため、いい機会だと思ったので友達と一緒に参加した
- ・ 工学部の学生として、パソコンの組立てには必要な経験だと思ったから
- ・ パソコンを組立てる技能は就職に多少有利に働くと聞いた為

3. あなたこの講習会を出るにあたりどれぐらいのパソコンの知識をお持ちでしたか？

表4. 回答と人数(複数回答可)

回答	人数
全然知らない	33
自作PCを今後買う予定あり	30
家で使っている(個人で)	28
自作PCを今後買う予定なし	13
パソコンを組み立てたことがある	5
自作はしたことあるがうまくいかなかった	4

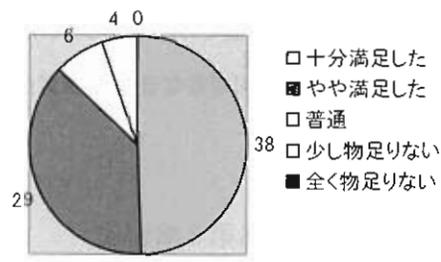


グラフ4. パソコンの知識について

4. あなたはこの講習会にでてどれぐらいの満足度をお持ちですか？

表5. 満足度と人数

満足度	人数
十分満足した	38
やや満足した	29
普通	6
少し物足りない	4
全く物足りない	0

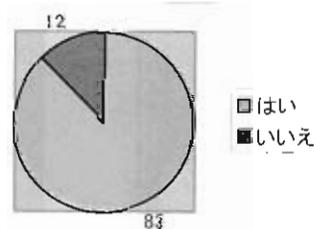


グラフ5. 満足度

5. あなたはまた、このような講習会に開催されたら参加してみたいとおもいますか？

表6. 参加するかしないか

参加の有無	人数
はい	83
いいえ	12



グラフ6. 今後、参加するかしないか

6. この講習会でのご意見、ご感想などをお聞かせください

内容:

- ・とても楽しかったです。
- ・進み方が丁寧で良く分かった。皆さんとても親切だった。
- ・とても丁寧に教えてもらい、分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・パソコンの改造がしやすくなった。
- ・わかりやすかったけど、OSのインストールまでやってほしかった。
- ・PCを組立てるのは意外と簡単だと思った。
- ・自分のPCの現状について質問できて良かった。
- ・自分でCPUを選んだり、それにあったマザーボードを選んだりしたかった。
- ・作ったPCが欲しい。
- ・今度、日本橋(大阪の電気街)にでも行ってみようと思う。
- ・ペースが遅かった。
- ・自分で自作をしないにしても、パソコンに対する知識が付き大変参考になったと思う。

7. 最後に、他にやってほしい講習会がありましたらお書き下さい

内容:

- ・C言語・BASIC・JAVAなどのプログラミング講習会
- ・スクリプト言語
- ・FLASH
- ・CAD
- ・MATLAB
- ・LABVIEW
- ・就職活動でのPCを使つての履歴書の書き方
- ・HP作成
- ・持ち帰り可能な自作PC講習会

◆ C 言語講習会

開催日: 6月30日

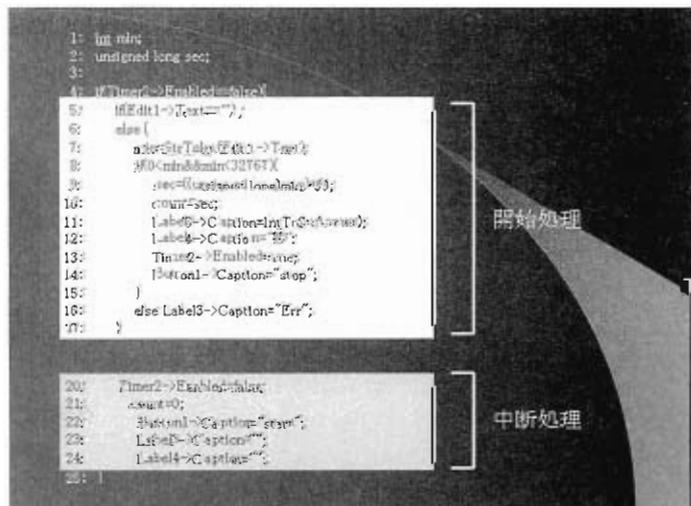
開催場所: 寝屋川キャンパス第3演習室

参加人数: 20名

内容: 初心者を対象にした講習会で、事前に準備したサンプルプログラムを解説しながら C 言語によるプログラミングを体験する講習会。GUI プログラムの製作を目指すため、優れたインターフェースを持つ Borland C++ Builder を使用した。



上図 サンプルプログラム。日付や時間を OS から受け取り表示する



右図 講師(学生スタッフ)の講義資料

◆ HSP 講習会

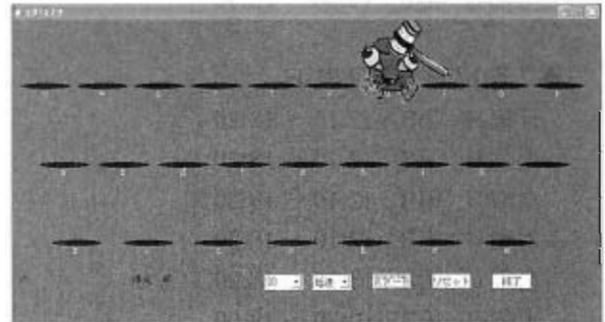
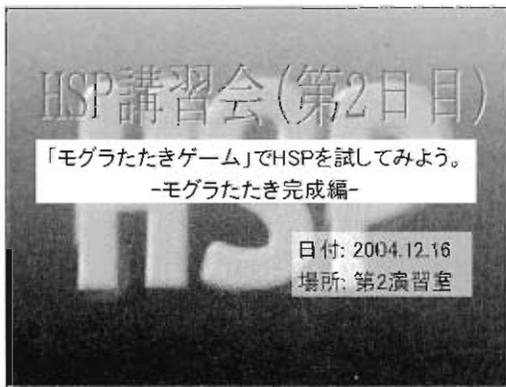
開催日：12月15・16日（連続講習会）

開催場所：寝屋川キャンパス第3演習室

参加人数：10名

内容：HSPとはHot Soup Processorの略で、インタープリタ型言語システムである。フリーソフトながら非常に多彩な機能を持っており、インターネットを通じて広く普及している。利用者も多く、このソフトで様々なプログラムが作成されている。特に簡単にグラフィック機能を利用できることから、多数のゲームがHSP上で作成されている。このようなことから、ゲームを題材にしたプログラミング講習会としてHSPを用いた講習会を実施した。

HSP講習会の参加者全員がHSPでのプログラミングは初めてだったものの、楽しみながらゲーム制作を行った。



左 講師（学生スタッフ）のプレゼンテーション画面

上 サンプルプログラム「モグラたたきゲーム」。講習会として易しすぎず難しすぎず、適度な題材として選ばれた。

2004年度の自由開放実施状況

授業を実施していない時間を、できるだけ自由開放として割り当てた。このため、時期や演習室毎に自由開放時間が異なっている。期間と曜日、開放した演習室は次の通り。

◆ 四條畷キャンパスの自由開放実施

4月9日～5月7日

月～金曜日 第5：16:45～18:00

5月10日～7月15日（5月11日、5月18日、5月25日、6月8日、6月25日を除く）

月～金曜日 第5：16:45～19:00

9月24日～2005年1月20日（11月1日～11月4日、12月24日～1月7日を除く）

月曜日 第5：16:45～19:00

火曜日 第5：16:45～19:00

水曜日 第5：16:45～19:00

木曜日 第1・第5：16:45～19:00

金曜日 第5：16:45～19:00

◆寝屋川キャンパスの自由開放実施

◆4月9日～5月7日

月～金曜日 第2・3：12:30～19:50

◆5月10日～7月16日

月曜日 第3：12:30～19:50

火曜日 第3：12:30～19:50

水曜日 第3：16:30～19:50

木曜日 第3：12:30～19:50

金曜日 第3：12:30～19:50

土曜日 第3：10:30～19:00

◆7月17日～7月31日

月曜日 第3：12:10～18:20

火曜日 第3：12:10～18:20

水曜日 第3：12:10～18:20

木曜日 第3：12:10～18:20

金曜日 第3：12:10～18:20

土曜日 第3：10:30～19:00

◆8月1日～9月17日（8月7日～8月16日、8月28日を除く）

月曜日 第3：11:10～16:50

火曜日 第3：11:10～16:50

水曜日 第3：11:10～16:50

木曜日 第3：11:10～16:50

金曜日 第3：11:10～16:50

土曜日 第3：11:30～19:00

◆9月27日～2005年1月21日（12月24日～1月7日を除く）

月曜日 第3：16:30～19:50

火曜日 第2・3：12:30～19:50

水曜日 第2：16:30～19:50、第3：12:30～16:20

木曜日 第2：12:30～19:50、第3：12:30～19:50

金曜日 第2：12:30～19:50、第3：12:30～19:50

土曜日 第2：10:30～19:00、第3：10:30～19:00

◆1月22日～2月8日（1月31日～2月1日を除く）

月曜日 第2：12:00～19:50、第3：16:30～19:50

火曜日 第2：12:00～19:50、第3：16:30～19:50

水曜日 第2：12:00～19:50、第3：16:30～19:50

木曜日 第2：12:00～19:50、第3：16:30～19:50

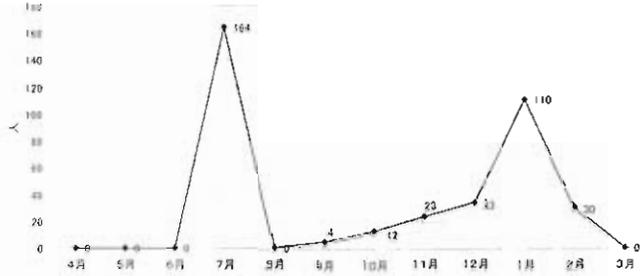
金曜日 第2：12:00～19:50、第3：16:30～19:50

土曜日 第2：10:30～19:00、第3：10:30～19:00

四條畷キャンパスの自由開放利用統計

四條畷キャンパスの全演習室の利用状況

第1. 5演習室の WindowsXP 利用者の合算



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	0	0	0	41	0	0	5	9	6	30	10	0	101
F学科	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	1	0	7
G学科	0	0	0	5	0	1	3	9	6	7	4	0	35
H学科	0	0	0	6	0	0	0	0	11	4	5	0	26
J学科	0	0	0	6	0	0	0	0	1	1	1	0	9
K学科	0	0	0	5	0	1	2	3	5	5	4	0	25
L学科	0	0	0	61	0	1	1	1	2	7	3	0	76
P学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q学科	0	0	0	37	0	1	0	1	1	53	2	0	95
R学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
V学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修士M	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	164	0	4	12	23	33	110	30	0	376

四條畷キャンパス各演習室の利用統計

第1演習室 (Windows XP 80台)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	38	8	0	1	0	0	48	20	41	142	15	9	349
F学科	25	8	0	0	0	0	1	13	40	41	27	44	224
G学科	29	4	0	0	0	0	0	17	21	13	27	31	136
H学科	16	18	0	0	0	0	1	17	19	17	30	36	180
J学科	20	6	0	0	0	0	0	52	72	39	92	63	314
K学科	14	2	0	0	0	0	0	17	10	11	10	0	71
L学科	0	0	0	0	0	0	0	15	8	9	13	3	37
P学科	18	5	0	0	0	0	1	18	20	20	10	9	115
Q学科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	10	20
R学科	4	1	0	0	0	0	3	12	13	15	34	14	105
V学科	0	0	0	0	0	0	1	8	24	57	18	20	186
W学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大B	88	23	0	0	0	0	0	4	1	0	11	46	200
修士M	12	0	0	2	0	1	3	13	15	6	3	5	60
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	251	76	0	21	0	0	8	203	327	295	304	314	1997

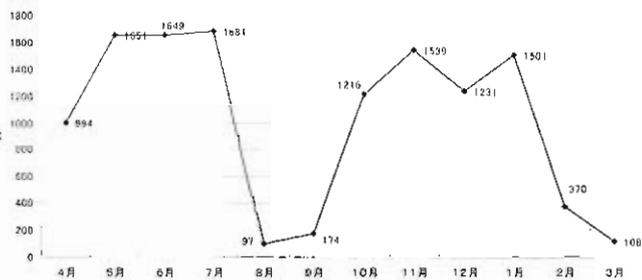
第5演習室 (Windows XP 72台)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	7	20	11	40	0	1	40	32	55	25	8	0	203
F学科	12	8	13	4	0	0	32	26	34	32	16	0	211
G学科	3	12	42	5	0	1	23	24	75	70	19	0	232
H学科	1	0	3	24	0	2	20	4	64	29	17	0	197
J学科	2	11	31	0	0	0	15	23	68	139	15	0	278
K学科	1	0	3	15	0	0	23	21	68	48	13	0	200
L学科	47	225	108	354	0	6	50	43	111	137	7	0	1075
P学科	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
Q学科	12	14	67	159	0	5	20	28	28	86	0	0	455
R学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
V学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W学科	0	47	13	0	0	0	3	9	18	3	0	0	87
短大B	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
修士M	2	9	5	2	0	0	6	16	17	2	0	0	61
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	92	416	328	798	0	8	104	240	229	574	42	0	3210

寝屋川キャンパスの自由開放利用統計

寝屋川キャンパスの全演習室の利用状況

第2, 3演習室のWindowsNT, Linuxの利用者の合算



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	289	545	450	402	7	24	346	316	344	362	18	0	3112
F学科	90	167	111	103	4	19	73	122	145	94	46	15	989
G学科	61	81	74	138	18	13	42	45	25	57	42	10	606
H学科	67	113	127	281	20	20	154	100	115	339	37	19	1392
J学科	81	243	189	126	14	18	200	206	132	111	64	14	1398
K学科	23	19	78	46	7	15	45	58	33	30	18	0	372
L学科	0	0	0	0	2	3	8	15	6	5	13	3	55
P学科	30	22	22	20	0	3	68	189	93	78	10	1	536
Q学科	4	4	17	7	2	3	3	4	6	5	11	3	69
R学科	118	197	225	152	8	17	135	271	129	212	24	9	1497
V学科	33	65	105	180	5	16	72	138	117	115	32	18	896
W学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大B	182	188	227	213	1	15	45	49	53	82	51	2	1108
修士M	16	7	24	13	9	8	25	26	33	11	4	5	181
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	994	1651	1649	1681	97	174	1216	1539	1231	1501	370	108	10922

寝屋川キャンパス各演習室の利用統計

第2演習室 (Windows NT, Linux のデュアルブート 76台)

WindowsNT

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	0	0	0	41	0	0	0	0	0	30	0	0	101
F学科	0	0	0	3	0	0	0	0	3	1	0	0	7
G学科	0	0	0	5	0	1	3	9	6	7	4	0	35
H学科	0	0	0	6	0	0	0	11	4	5	0	0	26
J学科	0	0	0	6	0	0	0	1	1	1	0	0	9
K学科	0	0	0	5	0	1	2	3	5	5	4	0	25
L学科	0	0	0	61	0	1	1	2	7	3	0	0	76
P学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q学科	0	0	0	37	0	1	0	1	53	2	0	0	95
R学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
V学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修士M	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	164	0	4	12	23	33	110	30	0	376

Linux

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	3	11	84
J学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
K学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
L学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
R学科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
V学科	10	7	0	0	0	0	1	19	111	46	99	0	293
W学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短大B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
修士M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	11	8	0	3	0	1	1	89	175	72	231	0	570

第3演習室 (Windows NT, Linux のデュアルブート 20台)

WindowsNT

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
E学科	7	20	51	40	0	1	40	32	0	29	8	0	307
F学科	12	6	15	48	0	0	32	36	34	30	18	0	231
G学科	3	12	42	50	0	1	23	24	75	23	18	0	272
H学科	1	8	1	44	0	2	29	4	64	27	17	0	197
J学科	2	11	31	80	0	0	5	13	68	53	15	0	278
K学科	1	5	3	18	0	0	23	21	68	48	13	0	200
L学科	42	225	100	354	0	6	50	43	111	137	7	0	1075
P学科	3	9	5	3	0	1	3	7	6	7	1	0	45
Q学科	12	64	62	159	0	5	26	28	28	66	0	0	450
R学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
V学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
W学科	0	47	13	0	0	0	3	3	18	3	0	0	87
短大B	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
修士M	2	9	5	2	0	0	6	18	17	2	0	0	61
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	92	416	328	798	0	16	240	229	574	421	96	0	3210

Linux

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
E学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2		
F学科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	6	27	8	44	
G学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
H学科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	29	23	34	141	0	228
J学科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
K学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
L学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
P学科	1	4	0	1	0	0	0	11	68	40	12	0	137		
Q学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
R学科	35	36	48	50	0	0	0	41	84	28	46	6	374		
V学科	5	8	11	20	0	1	5	16	0	5	0	0	71		
W学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
短大B	4	12	100	66	0	0	4	1	0	0	0	0	187		
修士M	0	2	2	0	0	0	1	2	0	3	2	0	12		
博士D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	45	63	163	137	0	2	95	198	133	214	6	0	857		

Mathematica 講習会

MATHEMATICA SEMINAR

情報処理教育センターでは、大学の知的教育環境の充実を目的として Mathematica のキャンパスライセンスを Wolfram 社と契約している。Mathematica の強力な数式処理能力は、様々な分野で非常に高い問題解決能力を発揮することから、多数の教員・学生が利用している。

また初心者の利用を促すため、昨年度に引き続き Mathematica 講習会を開催した。初心者は Mathematica の豊富な機能に圧倒され、何から手をつければいいのか分からないということもしばしば聞かれる。Mathematica 講習会を開催し、Mathematica の概念や基礎の理解を進めることで、最初の一步を踏み出す助けとなることを狙いとしている。

講習会内容

開催日：

前期 5月11・18・25日, 6月8日

後期 11月22・29, 12月6・13日

開催場所：四條畷キャンパス第5演習室

講師：デジタルゲーム学科 対馬勝英教授

講習会は前期、後期のそれぞれで4週行った。基本的に前期と後期は連続した内容で行っているが、後期だけの受講でも分かるように内容を工夫している。

●前期の内容

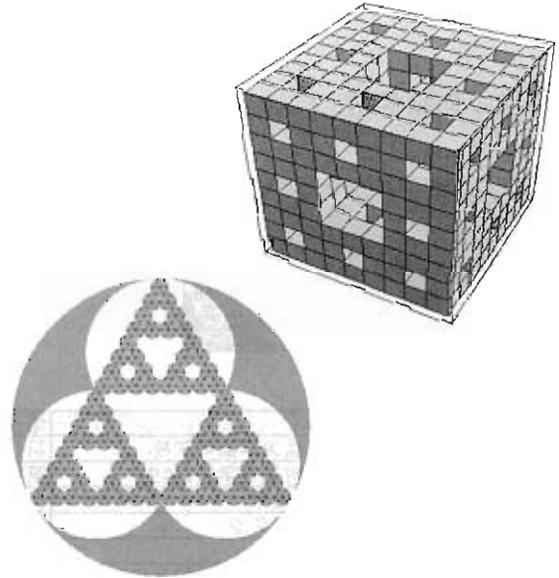
- ・統合化ツールとしての Mathematica
- ・コンピュータ言語としての Mathematica
- ・グラフィックスと Mathematica
- ・ゲーム、アートツールとしての Mathematica

1週目では「Mathematica とは何か」を皮切りに、Mathematica の概念、どのようなことができるかを説明した。2週目では Mathematica における式や数字の扱い、式の処理の手続き方法、関数手続きなど、利用のための基礎的な演習を行った。3週目では Mathematica でのグラフィックスの扱い方として、線、円、3Dボックスの描き方などを行った。4週目ではグラフィックスの描画に繰り返しや再帰処理を用いたラクトル画像等の描画や、これを用いたCGアートについて言及した。

●後期の内容

- ・リスト処理
- ・パターンマッチングを用いた知識処理 (AI) プログラミング) 入門
- ・データのグラフィック表示
- ・Mathematica でアート！！

後期の1週目では、後期から参加する学生向けに Mathematica の総括を行った。その後、Mathematica 上でのデータの処理の基礎となるリストの概念と扱い方を実習した。2週目には再帰を用いた演算の解法を行った。更に再帰の理解を深めるために、1週目で行ったリストを用いてフラクタルの描画を行った。3週目、4週目は Mathematica の2次元、3次元のグラフィック機能の説明を伴いながら、様々なフラクタルの描画を行った。パラメータや式を少し変えるだけで、表情をがらりと変えるフラクタルの不思議な性質に触れながら、数理が織り成すアーティスティックな描画に取り組んだ。



講習会内容

Mathematica 講習会で用いたノートブックファイルは Web 上に公開しており、ダウンロードすることができる。また、Mathematica を所有していないユーザのために、同様の内容を HTML 化して公開している。これらは下のアドレスから参照できる。

Mathematica 講習会のページ

<http://www.dmic.org/Mathematica/>

2004年度の Mathematica 講習会のページ

<http://www.dmic.org/Mathematica/index2004.html>



大阪電気通信大学 情報処理教育センター
Mathematica 講習会

このページは、大阪電気通信大学で内部公開に開催している Mathematica 講習会に関する情報を公開しています。

2004年度 中級 Mathematica 講習会

中級 Mathematica 講習会の開催のお知らせ

11月下旬から4回に亘って、「中級 Mathematica講習会」を開催します。今回の講習会では、前回の Mathematica 講習会より更に発展させた内容を準備しており、その内容は「上級」レベルの内容が中心に盛り込まれています。前期の講習会を受講されていなくても受講できますので、興味のある方はぜひご参加下さい。

【日時】	11月22日(月)、11月29日(月)、12月6日(月)、 12月13日(月)いずれも14時～18時(16時～18時)です。 計4日間、連続して開催します。参加のある集日には、 4日間の参加をお願いします。
【開催場所】	情報処理教育センター 第5会議室(2-207)
【対象】	本校に在籍する学生
【定員】	72名(定員になり次第、締め切ります)
【講師】	総合情報学部システム工学科 内馬 啓典 教授 総合情報学部システム工学科 内馬 啓典 教授 総合情報学部システム工学科 内馬 啓典 教授 T&Eラーニングアシスタント 藤田 博 受講者を支援して行います。

11月22日(月) 使用したノートブックのダウンロード
 * Windows 用 (PDF形式)
 * Macintosh 用 (PDF形式)
 * 印刷ファイル (PDF形式) をダウンロード

Mathematica 講習会のページ

講習会等活動報告

WORKSHOPS AND ETC

情報処理教育センターでは、演習室で行われる演習授業のサポートや自由開放以外に、学外からの見学や学生向けの講習会、大学企画のイベントへの技術協力などの活動を行っている。これについて報告する。

見学・体験学習



見学や体験学習では、高校生に限らず、多数の中学生や小学生が本センターを訪れた。体験学習では、興味をもてるように、その年代に合わせた模擬授業を行った。

・寝屋川キャンパス

見学日	見学者	場所	人数
6月21日	大阪電気通信大学高等学校	第4演習室	110名
7月12日	大阪市立扇町高等学校3年生	第2演習室	18名
8月2日	体験入学 (F信楽)	第4演習室	14名
8月3日	体験入学 (G阿久津)	第2演習室	18名
8月3日	体験入学 (K境)	第2演習室	10名
10月28日	大阪府立阿武野高等学校2年生	第2演習室	10名

・四條畷キャンパス

見学日	見学者	場所	人数
4月27日	兵庫県太子高等学校	6号館メディアラボ	第1学年22名
5月18日	大阪府立生野高等学校	6号館メディアラボ	11名
6月10日	四條畷市立忍ヶ丘小学校3年生	6号館メディアラボ・第5演習室	103名
7月8日	北京郵電大学	6号館メディアラボ	5名
6月4日	大阪電気通信大学高等学校3年生	6号館メディアラボ	生徒約230名保護者約200名
6月16日	大阪府立城東工業高等学校3年生	6号館メディアラボ	約20名
7月7日	大阪府立東百舌鳥高等学校	6号館メディアラボ	保護者26名
8月18日	福井県立若狭高等学校2年生	6号館メディアラボ	10名
9月8日	大阪電気通信大学高等学校	6号館メディアラボ	197名
11月8日	兵庫県立伊丹北高等学校1年生	6号館メディアラボ	16名
11月19日	大阪電気通信大学高等学校	6号館メディアラボ	生徒・保護者70名

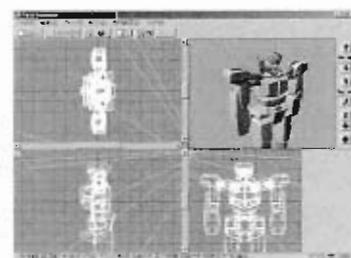
オープンキャンパスでの模擬授業

開催日・開催場所：

7月25日 寝屋川キャンパス第2演習室

8月21日 四條畷キャンパス第5演習室

オープンキャンパスでは、演習室のコンピュータを用いてコンピュータグラフィックス体験という模擬授業を行った。3DCGの初心者でも本格的な3次元アニメーションを製作体験ができるように、DOGA Cシリーズを使用した。DOGA CシリーズとはDOGA社が製作した3次元CGアニメーション制作ソフトDOGA Lシリーズを、私立大学情報教育協会のサイバー・キャンパス・コンソーシアムの枠組みを活用し、教育用途として使いやすいように改良したソフトウェアである。割り当てられた時間はそれほど長くなかったものの、参加者は熱心にアニメーションの製作に取り組んでいた。ユニークな動きで笑いを誘うものなど意欲的な作品が多数作成された。



DOGA Cシリーズのキャラクター制作の画面

ストリーミング技術協力

本学では入学式や学位授与式や演習で行われたコンテストなどを、学外でも閲覧できるようにするためにストリーミングを行っているが、これに関する技術協力を行った。多くの閲覧者のプレーヤーに対応するため、Windows Media PlayerやReal Playerの方式で配信した。



16年度の学位授与式のページ

◆技術協力

日付	内容
4月3日	本学入学式
10月22日	大分フットボールクラブ代表取締役 溝畑 宏氏講演
1月12・19日	本学機械創成工学演習競技会
2005年3月26日	本学学位授与式

学内向け各種講習会

本学に在籍する学生を対象に、就職等に有利な資格取得を目指す講習会を開講している。今年度では、「CG検定」・「MOS検定」・「基本情報技術者受験」・「シスアド」・「Excel Expert」などの資格講習会を開講した。

・寝屋川キャンパス

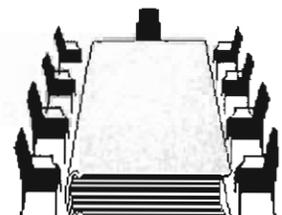
日付	講座名	場所
4月23・30日、5月21日	資格試験講座（CG検定2級）	第2演習室
5月9日～7月9日週2回実施	資格試験講座（MOS検定）	第4演習室
5月10～6月24日週2回実施	資格試験講座（MOS検定）	第1演習室
12月18・25日、2月12日	資格試験講座（基本情報処理技術者受験講座）	第2演習室

・四條畷キャンパス

日付	講座名	場所
5月16日～7月4日週2回実施	資格試験講座（初級シスアド）	6号館コミュニケーションルーム
9月10・24日、10月15日	資格試験講座（CG検定3級）	6号館コミュニケーションルーム
12月12日	資格試験講座（Excel Expert講座補講）	6号館コミュニケーションルーム
10月14～12月9日週2回実施	資格試験講座（MOS検定）	6号館コミュニケーションルーム
10月24日～12月7日週2回実施	資格試験講座（シスアド）	6号館コミュニケーションルーム

情報共通教育のサポート

高校における情報科目の実施状況は各校によって大きな差があり、新入生のコンピュータリテラシーのレベルは相当に開いている。このため、大学では情報共通教育運営会議を構成し、大学生として必要なコンピュータリテラシーを習得できるように「コンピュータ入門」という授業を実施している。本センターではコンピュータ入門の授業をサポートし、本学の情報リテラシーの向上を支援している。



運営組織

ADMINISTRATION

本センターは開発室を設置している。開発室には数名の教員が任命され、教育用のシステムの開発、普及啓蒙活動、教育工学に関係した研究等を行っている。具体的には教育用のCBE(Computer-Based Education)システムのソフトウェアの開発、教育用LANの構築、数式処理の教育への応用、教科教育のCBEシステム上での展開、情報処理教育用CAIの作成等の任にあたっている。

以下に、センターの構成員を示す。

構成

◆センター長

松村 雅史 (医療福祉工学部医療福祉工学科教授)

◆運営委員

王 少鋒 (人間科学研究センター助教授)
吉松 屋四郎 (数理科学研究センター助教授)
瀧川 靖雄 (工学部第1部電子工学科助教授)
村上 恭通 (工学部第1部通信工学科講師)
富田 彰宏 (工学部第1部電子材料工学科教授)
新関 雅俊 (工学部第1部電子機械工学科助教授)
吉田 晴行 (工学部第1部機械工学科講師)
境 隆一 (工学部第1部光システム工学科講師)
新川 拓也 (医療福祉工学部医療福祉工学科講師)
光本 浩士 (工学部第2部電子工学科助教授)
河合 利幸 (総合情報学部情報工学科助教授)
上田 和浩 (総合情報学部メディア情報文化学科講師)
藤田 高弘 (総合情報学部デジタルゲーム学科教授)
渡邊 寛二 (短期大学部電子情報学科講師)

◆開発室員

瀧川 靖雄 (工学部第1部電子工学科助教授)
何 一偉 (工学部第1部通信工学科講師)
竹本 信之 (工学部第1部電子機械工学科講師)
渡邊 寛二 (短期大学部電子情報学科教授)
横山 宏 (総合情報学部デジタルゲーム学科講師)

情報処理教育センター規則

制 定 昭和 53 年 10 月 26 日

改 正 平成 4 年 4 月 1 日

第 1 条

この規則は、大阪電気通信大学学則第45条の2第4項の規定に基づき、情報処理教育センター（以下「センター」という。）に関し必要な事項を定める。

第 2 条

- 1 センターに開発室をおく。
- 2 開発室はセンターの行う教育活動の企画、検討更新ならびにそれらに伴う技術的开发を行う。
- 3 開発室に開発室長をおく。
- 4 開発室長および開発室員は本学の教員をもつて充て、センター長の推薦により学長が任命する。

第 3 条

- 1 センターの運営に関する重要事項について、センター長の諮問に応ずるため、センターに情報処理教育センター運営委員会をおく。
- 2 センター長はセンターの運営に関する重要事項について、運営委員会に諮問するものとする。
- 3 センター長はセンターを利用して電子計算機の演習を行う教員でもつて担当者連絡会議を開き、円滑な運営をはかるものとする。
- 4 運営委員会に関する規則は、別に定める。

附 則 この規則は、昭和53年10月26日から施行する。

附 則 この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則 この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則 この規則は、昭和62年4月6日から施行する。

附 則 この規則は、平成4年4月1日から施行する。

情報処理教育センター運営委員会規則

制 定 昭和61年4月1日
最近改正 平成4年2月27日

第1条

この規則は、情報処理教育センター（以下「センター」という。）規則第3条第4項の規定に基づき、センター運営委員会に関し必要な事項を定める。

第2条

- 1 運営委員会は、次の各号の委員で組織する。
 - (1) 演習を担当する各学科教員のうちから学長が任命した者
 - (2) 本学教員のうちから学長が任命したもの（若干名）
- 2 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第3条

- 1 運営委員会は、センター長が召集して議長となる。
- 2 センター長に事故のあるときは、あらかじめ指名された委員がセンター長の職務を代行する。

第4条

運営委員会は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

第5条

運営委員会は、必要に応じ委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

第6条

その他、運営委員会の議事の方法等に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

第7条

運営委員会の事務に関する事項はセンター事務室が行う。

附 則 この規則は、昭和61年4月1日から施行する。

附 則 この規則は、平成4年4月1日から施行する。

大阪電気通信大学情報処理教育センター

2004年度 年報

2006年2月発行

編集・発行：大阪電気通信大学 情報処理教育センター

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8

TEL 072-824-1131(代表) / FAX 072-820-4570

e-mail ecip-staff@ecip.osakac.ac.jp

URL <http://www.osakac.ac.jp/ecip/>

Copyright 2005 Education Center for Information Processing, Osaka Electro-Communication University, Japan.



大阪電気通信大学

Osaka Electro-Communication University

大阪電気通信大学 情報処理教育センター

〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8

TEL 072-824-1131(代表) FAX 072-820-4570 ecip-staff@ecip.osakac.ac.jp <http://www.osakac.ac.jp/ecip/>

Education Center for Information Processing, Osaka Electro-Communication University

18-8 Hatsucho, Neyagawa, Osaka, Japan 572-8530

TEL 072-824-1131(OP) FAX 072-820-4570 ecip-staff@ecip.osakac.ac.jp <http://www.osakac.ac.jp/ecip/>